

「江戸上り」を再現した琉球張り子と制作した豊永盛人さん（横浜能楽堂提供）



## 「江戸上り」張り子で再現

### 豊永盛人さん、横浜で個展

琉球玩具作家の豊永盛人さん(37)制作の琉球張り子で「江戸上り」を再現した展覧会「歌う踊る弾くー琉球張り子・豊永盛人の世界」が、神奈川県横浜能楽堂で開かれている。12月8日まで。入場料も、これほど大きな張り子を作るのに、1カ月かけて48体の張り子を作った。

豊永さんは1983年の江戸上りを描いた「琉球人座楽并踊之図」を基に、張り子は全て一点物で高さ約30センチ。豊永さんにとっても、これほど大きな張り子を作る機会はありません。

「江戸上り」は琉球が薩摩に支配されていた時代、琉球国王と幕府の将軍が代わるたびに江戸に使者を派遣したことをいう。

江戸に上った琉球士族は音楽や舞踊を披露した。

5. 問い合わせは横浜能楽堂 ☎045(2663)3055